

第2回 国有林モニターアンケート

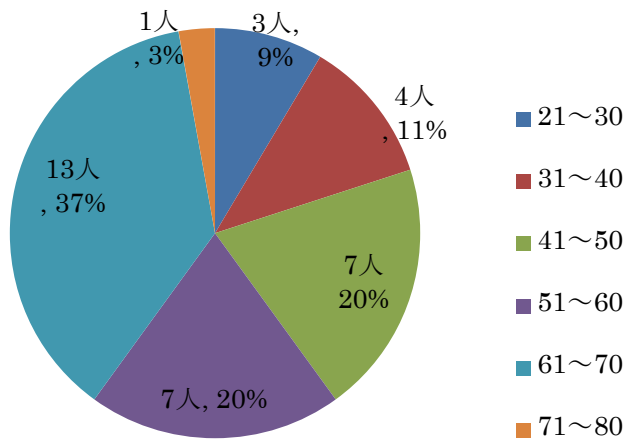
結果概要

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般の方から国有林モニターを募り、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に、国有林野事業についての幅広いご意見等をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「国民の森林」にふさわしい管理経営を行うことを目的としています。

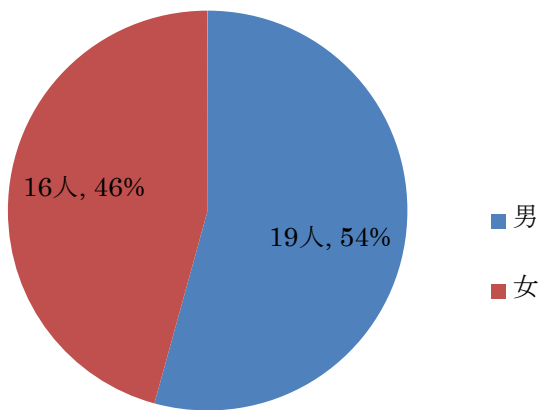
今回、第2回国有林モニターアンケートを実施し、国有林モニター35名全員の方からご回答をいただきましたので、その結果について報告します。

平成26年12月

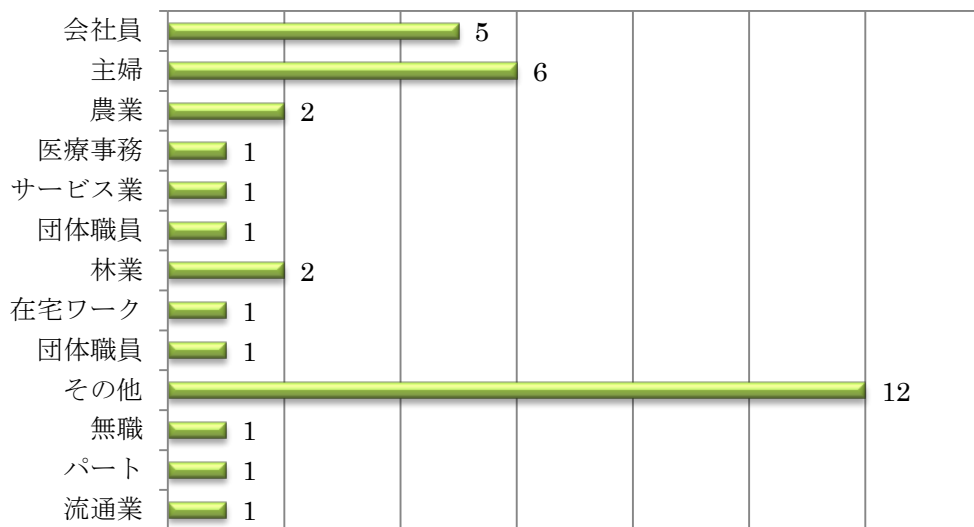
国有林モーター基本情報



年齢割合



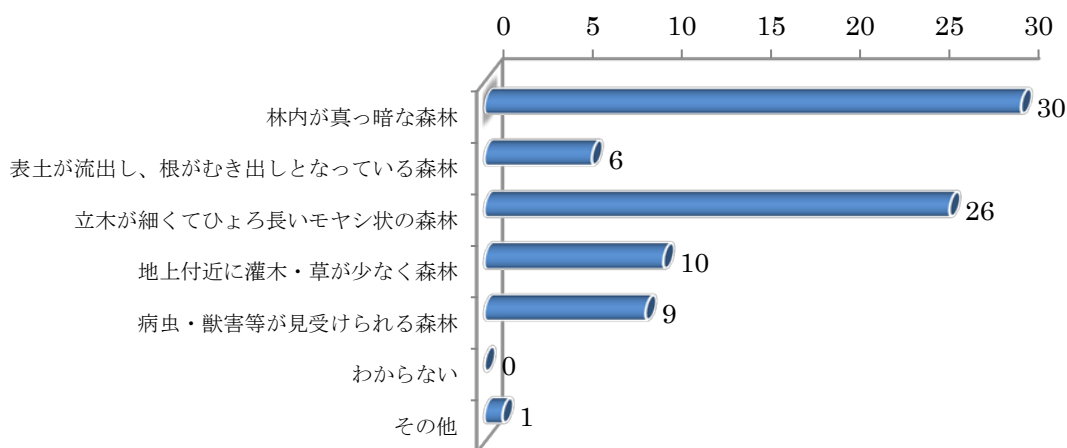
男女割合



職業

人工林の間伐等の森林整備の推進について

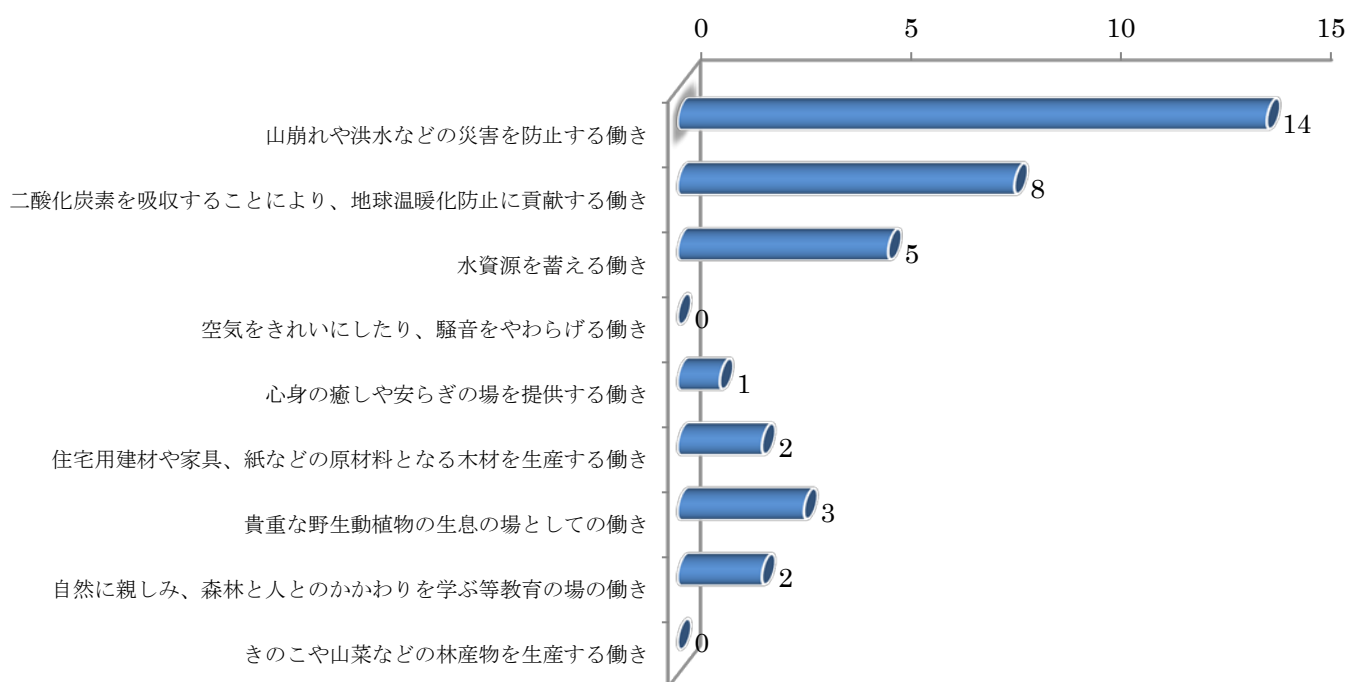
問1 人工林では、森林を整備することにより健全な森林を保つことが可能となります。間伐作業が実施されていない人工林についてお聞きします。皆さんがイメージする間伐作業が実施されていない人工林について次の中から選んで下さい。（複数回答可）



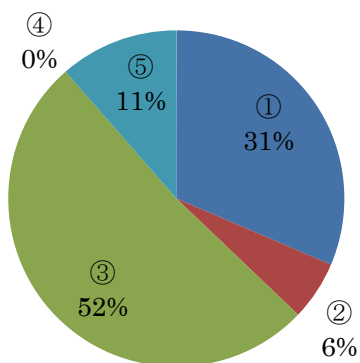
その他（一部抜粋）

- ・ つるや下草が多く下枝が広がっていない森林
- ・ 倒木が多く人が入りにくい森林。 等

問2 間伐等を実施し森林整備を推進することで森林の公益的機能が発揮されています。皆さんが森林に最も期待する働き（内閣府「森林と生活に関する世論調査」より）についてお聞きします。次の中から1つお選び下さい。



問3 中部森林管理局の人工林は次々と主伐期を迎えており、「伐って、植えて、育て、また伐る」循環的な林業を進め、人工林の齢級構成(年齢構成)を平準化していくことが必要となっています。また、人工林は若いほど二酸化炭素の吸収量が多いため、人工林を主伐し、再造林することによって、人工林資源の若返りを図ることは、森林の二酸化炭素吸収作用の保全・強化を図る観点からも重要です。皆さんがイメージする主伐と再造林を進めることについて次の中から1つ選んでください。

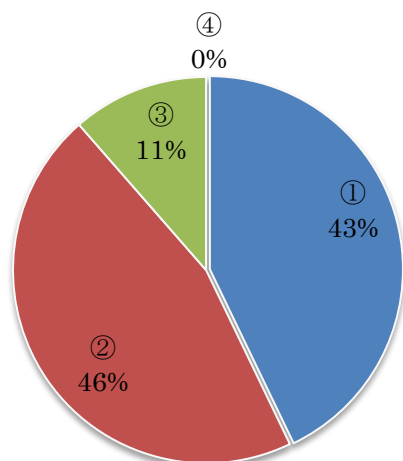


① 人工林の主伐と再造林を進めて若返りを図るべき	11人
② 主伐を控えて高い齢級の森林を増やすべき	2人
③ 高い齢級の森林と若い森林とをバランス良く作るべき	8人
④ 人工林を伐採することは森林の公益的機能の発揮上望ましくない	0人
⑤ その他	4人

その他（一部抜粋）

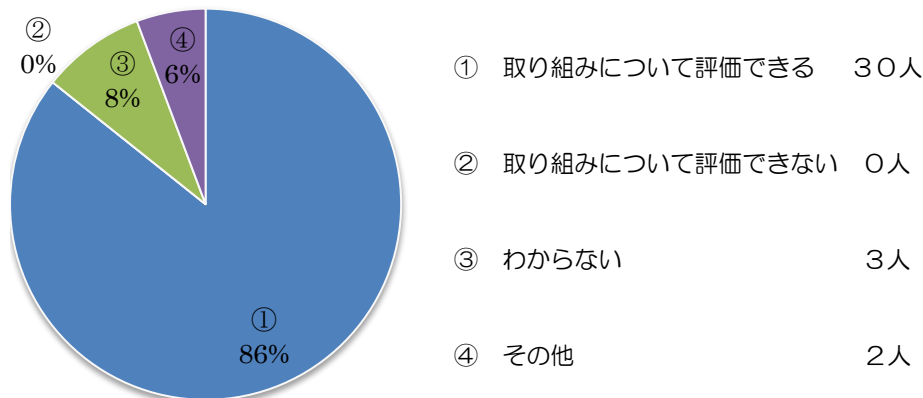
- ・ 経済的に循環的林業が可能であれば主伐と再造林を進めて貰いたい。
- ・ 奥山の人工林は、公益的機能を重視し天然林へ、里に近い民有林の人工林は国がサポートして資源循環林として再造林してゆく。
- ・ 木材利用と防災上必要とされる森林のバランスが大切である。等

問4 中部森林管理局では、公益的機能の維持増進を目的に、人工林の下刈、間伐等の保育作業、主伐・再造林の取組を実施しています。これらに取組みについてお聞きします。次の中からお選び下さい。



① 国有林モニターになる以前から知っていた	15人
② 国有林モニターになってから知った	16人
③ 今回のアンケートではじめて知った	4人
④ わからない	0人

問5 中部森林管理局が実施している公益的機能の維持増進を目的とした人工林の間伐等の保育や主伐・再造林の取組などの森林整備についてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書きください。



その他意見等（一部抜粋）

- ・森林整備は大切である。主伐再造林に取り組んでほしい。
- ・取組む考え方には理解できる。現状に対し適期に対応しているか、現状をしっかりと見てみないと本当の評価はできない。
- ・森林整備は、100年を見据えて次世代の為にやる事が良い事だと思う。 等

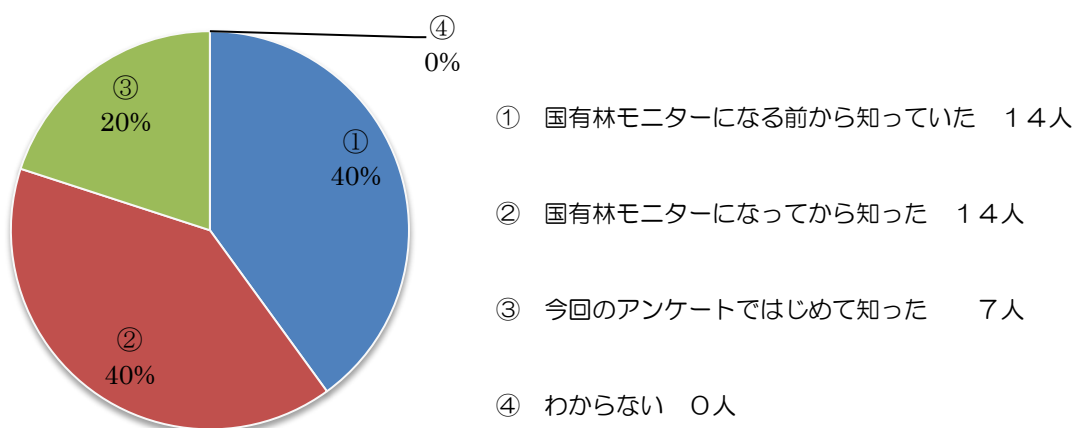
問6 中部森林管理局が実施する森林整備について、ご提案がありましたらお書き下さい。
（一部抜粋）

- ・専門用語が分からない。イラスト、4コママンガ等取り入れ森林管理局の仕事が見える様にすべきである。
- ・森林整備には、人間の手が必要であるが限られるため、機械の導入により効率的な実施が必要である。
- ・過去10年単位で見て森林状況が期待する状態になっているのか。また問題が出てきているのか知りたい。
- ・国有林、民有林の線引きでなく、大きな区域での森林施業が必要である。
- ・森林作業者の高齢化が進んでおり労働条件（賃金）を改善し、若い林業技術者の育成や雇用の促進が必要である。
- ・ボランティアや高齢者活用などにPRし参加者の拡大を図る。
- ・近年、熊やイノシシ等の獣害がひどいことからブナ、ドングリ等エサとなる木を積極的に植栽してはどうか。
- ・災害に強い豊かな森づくりのため適切な森林構成や森林の育成に努めて欲しい。
- ・森林整備に民間の協力を増大させるため、ボランティアを募集し森づくりの理解を深める運動を推進する。
- ・花粉症になりにくい樹や育てやすく高値で売れる樹を植える。
- ・森林整備にネーミングライツを導入し、整備費を負担して貰ったり、定期的の間伐や植林等をしてもらう。 等

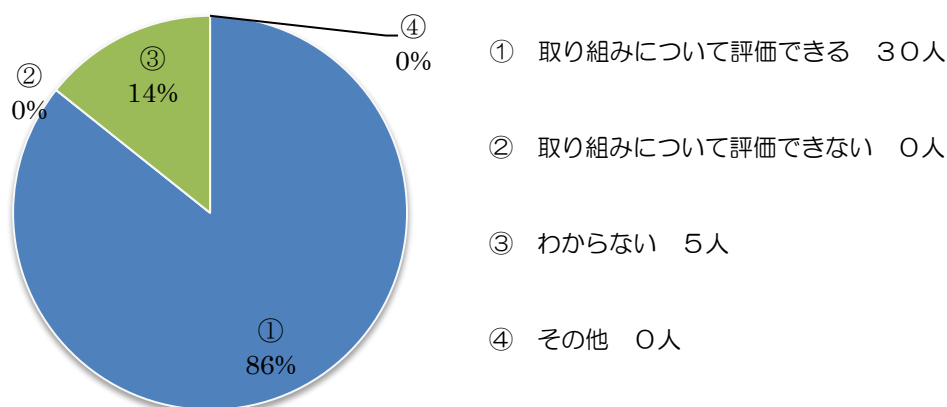
治山事業について

問7 中部森林管理局では、安全・安心な国土基盤づくりを目的に、

- (1) 集中豪雨や台風等により国有林内で発生した山地災害の復旧整備
- (2) 大規模山地災害発生時の、県や市町村とも連携した①ヘリコプターの活用等による調査、②応急対策、③復旧計画の策定
- (3) 民有林において荒廃規模が大きく特に高度な技術を必要とする場合の、県等からの要請による復旧整備など治山事業に取り組んでいます。中部森林管理局が山地災害の復旧など治山事業に取り組んでいることを知っていましたか。次の中からお選び下さい。



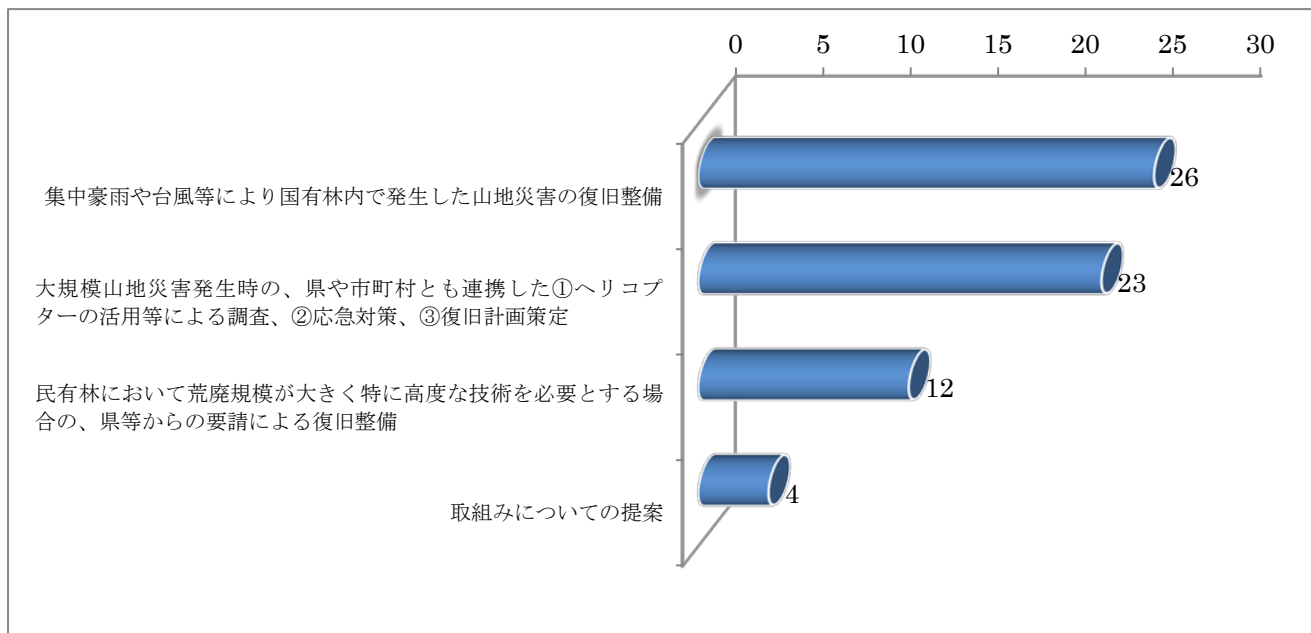
問8 中部森林管理局が実施している安全・安心な国土基盤づくりを目的とした治山事業の実施についてお聞きします。次の中から選ぶとともにご意見等あればお書きください。



その他意見等（一部抜粋）

- ・ 治山事業の実施により現在の災害で済んでいると思われる。災害に対しての心構えや開発には注意が必要である。
- ・ 安全な国土基盤づくりの基本は、良好な森林作りである。治山堰堤も良好な山保持と木の成長を守ることである。
- ・ 資料、パンフレット等を頂き中部森林管理局の取組み、又いろいろな大変さがわかりました。御嶽山も大変ですがこれからも活躍お願いします。 等

問9 今後、安全・安心な国土基盤づくりを目的とした治山事業に対する中部森林管理局の取組の中で、継続して実施してほしい取組みがありましたら、次の中から2つ選んで下さい。また、取組みについてご提案がありましたらお書き下さい。

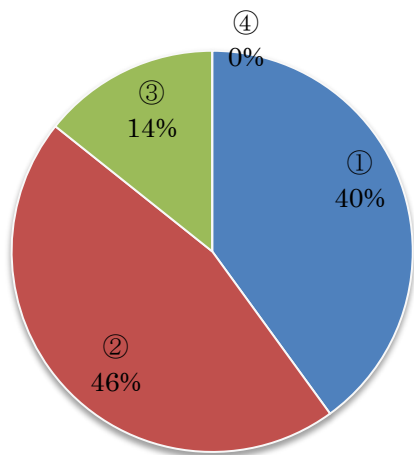


取組みについての提案（一部抜粋）

- ・ 治山事業は国、県、市町村地域住民が協力して国土基盤を造ってほしい。
- ・ 保安林の現状の色分け（設定）は良いが、その目的に合った対応がされているか疑問。
- ・ 活動について、機会ある毎に宣伝活動をする。 等

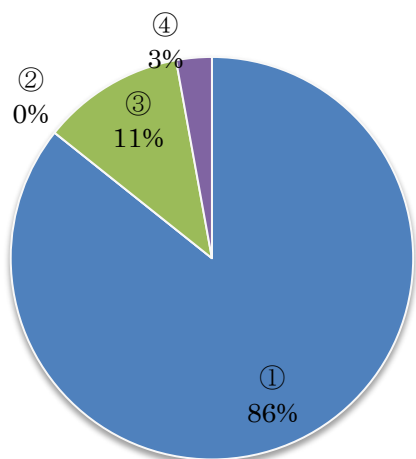
生物多様性の保全について

問10 中部森林管理局が生物多様性の保全に取り組んでいることを知っていましたか。



- ① 国有林モニターになる前から知っていた 14人
- ② 国有林モニターになってから知った 16人
- ③ 今回のアンケートではじめて知った 5人
- ④ わからない 0人

問1 1 中部森林管理局が実施している生物多様性の保全の取組についてお聞きするとともに、ご意見等ありましたらお書き下さい。

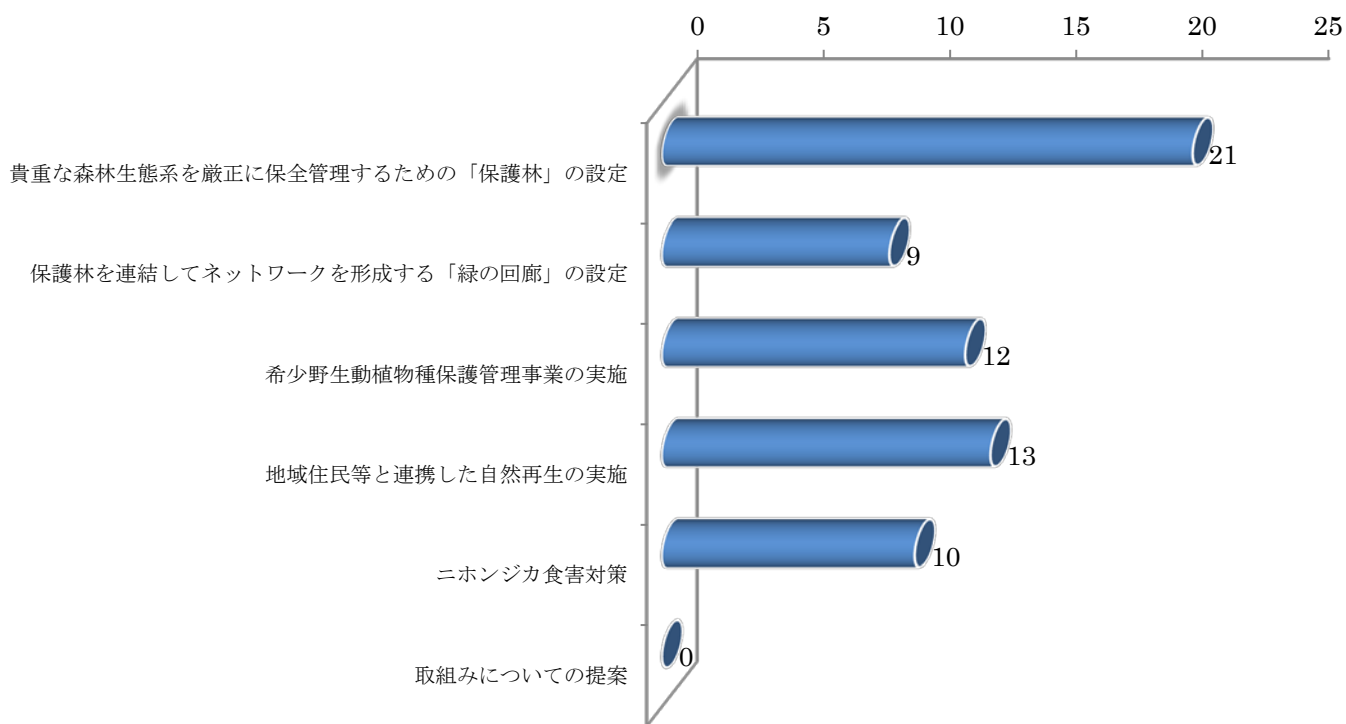


- ① 取組みについて評価できる 30人
- ② 取組みについて評価できない 0人
- ③ わからない 4人
- ④ その他 1人

その他意見等（一部抜粋）

- ・シカの生息地が昔より狭まり頭数が増えていることからもっと減らすべきだと思う。
- ・生物多様性の保全について大学や各研究機関との連携をさらに強化して取組み、その結果を徹底的に公開・PRし自然保護に繋げる。 等

問1 2 今後、生物多様性の保全に対する中部森林管理局の取組の中で、継続して実施してほしい取組みがありましたら、次の中から2つ選んでください。また、取組みについてご提案がありましたらお書き下さい。



取組みについての意見等（一部抜粋）

- ・ 野生動物の害から守るためには頭数を減らす駆除が必要である。そのためには、住民、行政等と連携、オリやワナの設置等に力を注いでほしい。また、「シカ肉」はジビエ料理として活用する。
- ・ シカ被害対策として畏も良いが、動物と共存できる仕組み（シカ専用の動物園等（エリアを決めて保護する））があったら、少しは動物の保護が出来るのではないだろうか。 等

その他意見・要望

問 13 その他、「国有林」や「国有林野の管理経営」などについての意見・要望。

（一部抜粋）

- ・ 中部局が工夫を凝らして、様々な取組を行っていることは良く分かったが、イベント情報を周知させるためCM、ラジオなど不特定多数の人が見たり聞いたりできる場を利用すれば効率的である。また、資料は写真やグラフ付で内容記述も分かりやすくテキストとしては大変満足したが、これを利用した小学、中学生への勉強する時間があると良いと思う。
- ・ 地球温暖化、災害防止等のためブナの保護区を設定してほしい。
- ・ 国有林の管理の中に国有林を活用するしくみをつくり民有林のモデルになると良い。
- ・ 今後広葉樹林が多くなることから、50年、100年先の広葉樹森林作りのため海外の広葉樹の森林を持つ国々と情報交換してはどうか。
- ・ 国産の木材が利用されるために、どうすれば生産者が意欲ある森林づくりが出来るのか。また、杉の圧縮材のメリット、木材の本当の良さを有効に利用できるのかを考えること大切である。開かれた「国民の森林」として広く国民に意見得るためのイベントでなく本来の森林造りが必要である。
- ・ 森林をこれからも守り次の世代に引き継いでいくには管理局のお仕事が必要となる。もっと積極的にPRをすることが大切であり若い人の雇用にもっと繋げてもらいたい。
- ・ 色々な情報が得られることからモニター制度は続けて貰いたい。また、現地見学でシカの害を見ることができ良かった。
- ・ 公益重視の管理経営はとても大切である。森林に寄付することが1つのステータスとなりお金持ちからお金を集めて国が直接管理していけたら理想的である。
- ・ 国有林（それを含む国立公園など）の多面的な活用により地域振興に寄与する施策を大胆に打ち出してほしい。地域でのNPO活動が、国立公園指定による規制等によりその活動が制限されている場合があり、利用と保存のバランスを取った取り組みが必要である。
- ・ 国有林への入林許可申請の手続きと許可基準を具体的に教示していただきたい。深洞自然観察教育林や木曾ヒノキ備林など入林に許可制を実施している理由や林の内容、この他にこのような国有林があれば、紹介して貰いたい。
- ・ 森林・林業再生は、長い年月が必要でありすぐには結果が出ないことから地域住民（NPO等）を巻き込んで、もっと森林・林業について、理解が得られるよう、PRが必要である。

まとめ

今回のアンケートでは、中部森林管理局の取組のうち、「公益重視の管理経営の一層の推進」の取組みに位置づけられている、「人工林の間伐等の森林整備の推進」、「治山事業」、「生物多様性の保全」の3項目について幅広いご意見をいただきました。

人工林の間伐等の推進については、間伐作業を実施されていない森林のイメージとしては①林内が真っ暗な森林、②立木が細くてひよろ長いモヤシ状の森林等のイメージを抱かれている方が多いことがわかりました。

森林に最も期待する働きは、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」の回答が多く寄せられ、災害防止機能の発揮に対する期待が高いことが解りました。

中部森林管理局が取組んでいる、人工林を主伐し、再造林することによって、人工林資源の若返りを図ることへの意見は、「高い齢級の森林と若い森林とをバランス良く作るべき」「人工林の主伐と再造林を進めて若返りを図るべき」との意見が多く、取組みについては、「国有林モニターになる以前から知っていた方」、「モニターになってから知った方」が多く、取組みについて多くの方が評価していることが解りました。今後の森林整備に対する提案として、機械の導入により効率的な実施、国有林、民有林の線引きでなく大きな区域での森林施業の取組みが必要である等の意見をいただきました。

また、安全・安心な国土基盤づくりとしての治山事業の取組に対する認知度は、「国有林モニターに入る以前から知っていた方」、「国有林モニターになってから知った方」が多く、取組みについて「評価ができる」とした回答が多く寄せられました。モニター制度により、情報発信が図られていることがわかりました。

継続して取り組む必要がある治山事業としては、「集中豪雨や台風等により国有林内で発生した山地災害の復旧整備」、「大規模山地災害発生時の、県や市町村とも連携した①ヘリコプターの活用による調査、②応急対策、③復旧計画の策定」との回答が多く、寄せられた意見等から、森林整備や崩壊地等の復旧整備を継続的に取り組むべきとの意見が多いことがわかりました。

生物多様性の保全に対する取組には、「国有林モニターになる以前から知っていた方」、「モニターになってから知った方」が多く、中部森林管理局の取組みについて「評価ができる」とした回答が多く寄せられました。

また、継続して取り組む必要がある生物多様性保全の取組は「貴重な森林生態系を厳正に保全管理するための「保護林」の設定」についての回答が多く、生物多様性の保全の推進上、重要と捉えられていることがわかりました。

さらに、モニターの皆様からは、その他「国有林野の管理経営」について意見・要望等を多くいただきました。

引き続き中部森林管理局の取組等に理解を深めていただけるよう広報等に努めるとともに、今後も皆様からのご意見の把握に努め、皆様の貴重なご意見を参考にしながら、業務の改善を進めて参ります。